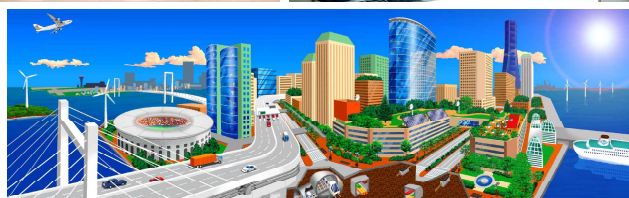


橋梁添架管路の敷設や耐震化に 橋梁添架製品のご提案



土井製作所は長年の電力・通信事業での実績とノウハウ、そして実際の大規模災害の教訓を活かした商品開発とご提案をしております。電力・通信インフラにおける製品の技術検討・設計・開発・販売(品質管理)から、維持管理、大災害後の補修・補強のご提案(技術サービス)までをワンストップサービスで対応しております。



● 橋梁添架製品

〈多段配管システム、EP管〉

● 専用橋

〈専用橋(トラス橋・H桁)、専用橋(管路橋)〉

● 既設管路メンテナンス対応製品

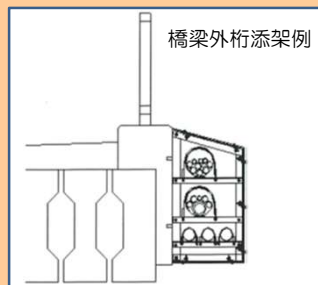
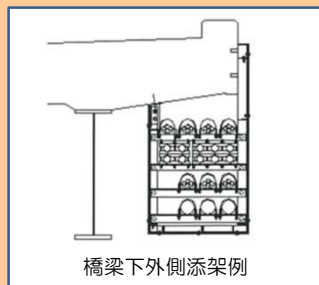
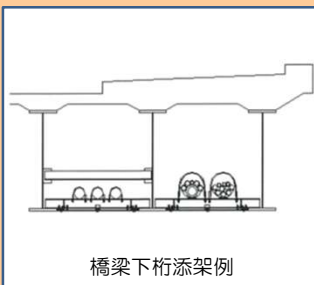
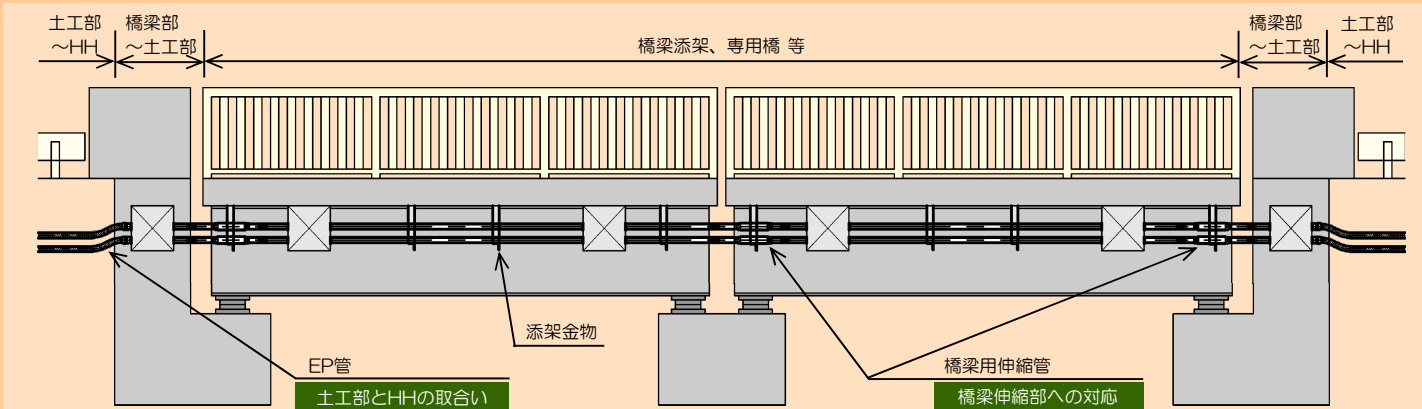
〈DRP×DRC〉

● 橋梁部における耐震管路材

〈橋梁用EPIS50〉

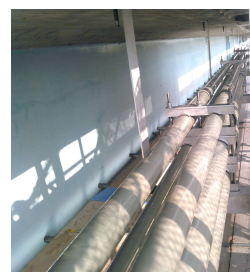
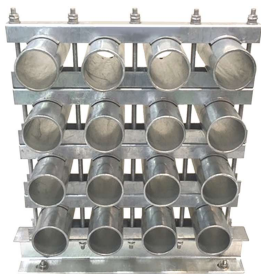
橋梁添架製品

橋梁部における、電気通信配管の添架に用いる配管支持金物やジョイント部に用いる伸縮継手等の部材を設計・ご提案いたします。



多条配管システム

- 配管を多条で添架する際に使用します。
- 配管の離隔を最小限に抑え、より少ないスペースに多くの管路を敷設することができます。
- ボルト締め箇所数が少ないため、施工作業を簡略化できます。
- 配管条数が多くなるほど、施工を含めたトータルでのコストダウンにつながります。



EP管(ステンレス製可とう電線管)

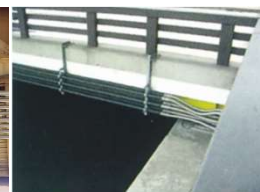
- ステンレス薄板をインターロッキング構造にして、可とう性と強度及び伸縮性を持たせています。
- 橋梁及び地中部での障害物回避用として使用します(1mから販売いたします)。



【寸法表】

呼称	外径	内径	ブッシング内径	全長(m)	標準曲げ半径	ブッシング
EP40	45.6	40.6	37.4	0.5~20	250	40
EP50	56.5	51.5	48.4		300	50
EP80	85.0	80.0	76.4		400	80
EP100	106.5	100.5	96.4	0.5~10	500	100
EP125	144.0	135.0	131.4		800	125
EP150	162.5	153.0	150.0		100	150

※端部には必ずブッシングを取付けてください。
※寸法表以外のサイズはご相談ください。



管ルートの両端が決まってい、その途中に複雑な曲げを要する場合、可とう性を持ったEP管が施工に有効です。
(接続部：EP管用ボックスコネクタ使用)
(ケーブル余長部：【SUS】プルボックス使用)

専用橋

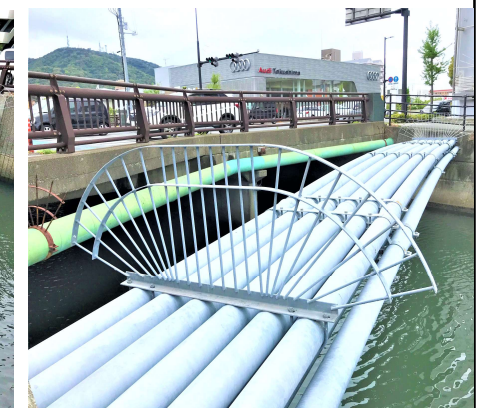
専用橋（トラス橋・H桁）

様々な現場に適合した専用橋の設計・製作が可能です。



専用橋（管路橋）

管路自体が桁の役割となり、河川を横断して配管することが可能です。



既設管路メンテナンス対応製品

DRP×DRC

補修

構築

- 既設露出管路の耐震化にご使用いただけます。
- 管路から離脱したケーブルの補修工事、耐震補強工事にご使用いただけます。
- ケーブル活線状態で施工できます。

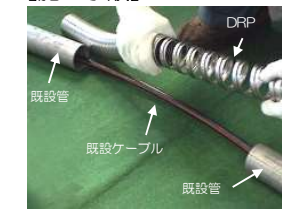


橋梁部で既設管路が外れ、露出したケーブルに管路構築した事例

【寸法表】

補修可とう管	内径	外径	長さ	許容曲げ半径	色
DRP40	44	49	500/1000/2000	350	塗装無
DRP50	55	60	500/1000/2000	300	
DRP80	82	88	500/1000	250	
DRP40-Cタイプ	44	49	500/1000/2000	350	指定色塗装
DRP50-Cタイプ	55	60	500/1000/2000	300	
DRP80-Cタイプ	82	88	500/1000	250	

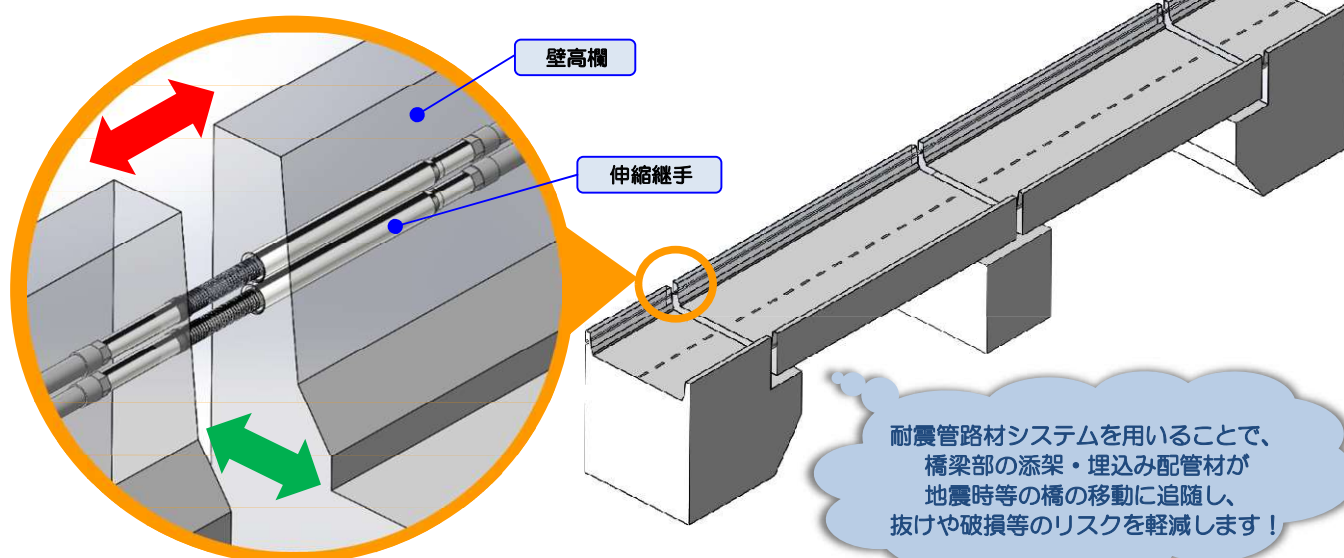
【施工手順】



単位：mm

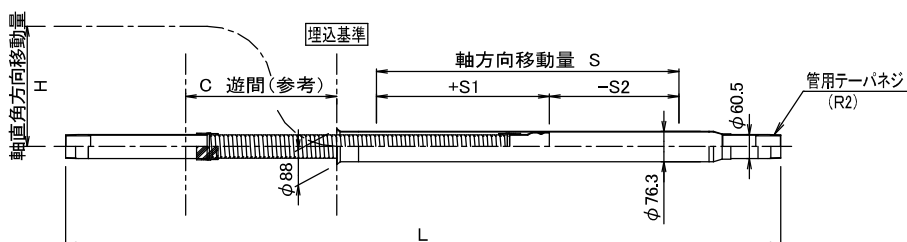
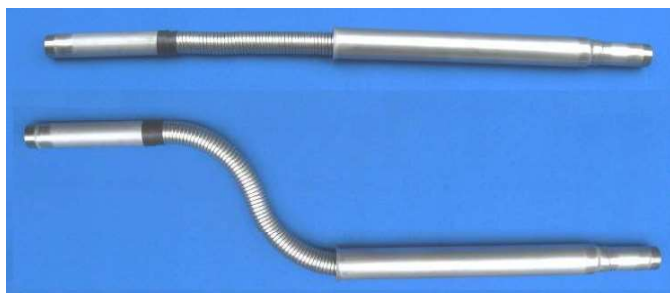
カップリング	対応する管
DRC40	DRP40/SGP40A/VP40
DRC50	DRP50/SGP50A/VP50
DRC80	DRP80/SGP80A/VP75
DRC40-Cタイプ	DRP40-C/SGP40A/VP40
DRC50-Cタイプ	DRP50-C/SGP50A/VP50
DRC80-Cタイプ	DRP80-C/SGP80A/VP75

橋梁部における耐震管路材



橋梁用EPIS50

- 橋梁の壁高欄ジョイント部伸縮継手として使用します。
- 橋軸方向の移動量は、最大±650mm移動します。
- 遊間300mmの時、軸直角方向移動量は最大±500mm偏芯します。
- ステンレス製で先端部はねじ加工を施しています。



【寸法表】

単位：mm

呼称	全長 L	遊間(参考) C	移動量			軸直角方向 H
			軸方向 S	+移動量 S1	-移動量 S2	
橋梁用EPIS50 × 600S	1506	300	600	300	300	※±500
橋梁用EPIS50 × 700N	1656	350	700	400	300	
橋梁用EPIS50 × 800N	1806	400	800	500	300	
橋梁用EPIS50 × 900N	1956	450	900	600	300	
橋梁用EPIS50 × 1000N	2106	500	1000	600	400	
橋梁用EPIS50 × 1100N	2256	550	1100	700	400	
橋梁用EPIS50 × 1200N	2406	600	1200	800	400	
橋梁用EPIS50 × 1300N	2606	650	1300	900	400	

※遊間300mm以上の場合です。

【施工例】



壁高欄 ジョイント部



EPIS 取付状態



EPIS EP管 露出部



橋梁端部ボックスから土工部



〒135-0016 東京都江東区東陽5-30-13 東京原木会館5F

TEL : 03-3647-0151 FAX : 03-3647-9484

E-MAIL : cs@doi-web.com

ホームページ : <https://www.doi-web.com>

Facebookファンページ : <http://www.facebook.com/doi.fbfp>

